

請願第41号

小浜工房館における和太鼓使用に対する防音工事についての請願

提出年月日 平成26年(2014年)11月10日

請願者 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■  
■■■■■  
■■ ■ ■ ■ ■  
■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■  
■■■■■■■■■  
■■ ■ ■ ■ ■

紹介議員 宝塚市議会議員 三宅浩二

請願の趣旨

小浜工房館の夜間の和太鼓の使用に関して、近隣より「太鼓の音がうるさい」との声が市に寄せられております。私ども■■■■■としては、今後も発達障がいを含め、子ども達の成長する機会をより多く与えて頂きたいとの思いで実施しております。宝塚市の障がいのある子ども達の集える場所と自己表現が出来る道具が小浜工房館であり、和太鼓であることをご理解していただけることを要望いたします。

1 ■■■■■■について

■■■■■は2013年1月にオープン致しました。兵庫県の認可を受け、発達障がいや知的障がいのある小学校1年生から高校3年生までの子ども達の放課後の時間を利用して、様々な社会経験や学習指導を主に行っている児童福祉法における子どものデイサービスです。

■■■■■のコンセプトは、子ども達が将来大人になった時に、誰からも感謝され、出来るだけ地域で暮らす事の出来るような存在に成りえるように、心、手先、学習、体力をつけることを目的に行っています。そのため体験型の取り組みとして、平日の夜や、土曜日等に、料理、運動、登山、野外炊飯、就労体験、和太鼓を行っています。

2 和太鼓の目的

和太鼓は、大きく3つのことを目的に行っています。1つは、和太鼓には、「全身を動かし打つ」という表現が用いられております。そのため、健やかな体や逞しい精神の自己修養力向上が備わっている上、自己表現の可能性がります。自己表現や他者との関わりが苦手な知的・発達障がいを持った子ども達が、太鼓を通して自己を表現し、音を重ねることで他者との関わりをもつ一つのツールになると考えています。

次に、和太鼓を通して、「強調性と規律を意識」させたいと考えています。礼に始ま

り、礼に終わる日本人としての作法を学び、実践し佳麗な態度を身につけることは、社会生活において必要不可欠であると考えています。また、他者を意識することが苦手な障がいのある子ども達が、周りの音を意識して合奏という行動を行うことで、私生活において他者を意識するように支援していきたいと考えています。

最後に子ども達が大人になってからも続ける「趣味作りの基礎」として和太鼓を考えています。障がいのある人たちの中で余暇の過ごし方が上手な人ほど、働くことを継続して行えているというデータもあるように、彼らの趣味づくりも必要な課題であると考えています。自分の住んでいる、暮らしている地域の中での習い事、趣味が出来る事も大切なことであると考えています。

### 3 ■■■■■■■■■の地元からの支援

私どもが使用している和太鼓は「■■■■■■■■■」の使用している和太鼓です。これは、■■■から無償でお借りしております。小浜という土地の温かい協力支援が、このような形で手を取り合って、子ども達の成長を応援する事に繋がっています。

### 4 現在と今後について

保護者からは、「太鼓の日は、早くに宿題を終わらせることが出来ている。」「今まで、あんな笑顔な表情を見た事がない。」など、太鼓の持つ力を実感して頂いています。

さらに、2014年3月に発表会、および11月には小浜工房館フェスティバルで一年間の集大成をお披露目いたします。子ども達が一番輝ける舞台になれるように配慮し15名の子ども達が貴重な晴れ舞台で一生懸命練習の成果を披露することが出来ています。

子ども達一人ひとりの目標を共有し、子どものテーマに合った練習を行う事が出来ています。今後も地元の小浜工房館を利用しながら、継続して練習していくにあたり、さらなる子ども達の成長を期待しています。その為にも、小浜工房館において近隣にご迷惑をかけずに和太鼓演奏が出来るように防音工事を実施して頂きます事を切に願います。

### 請願の項目

- 1 小浜工房館において近隣にご迷惑をかけずに和太鼓演奏が出来るように防音工事を実施して下さい。